

KENKYUSHA'S
NEW
DICTIONARY
OF ENGLISH
COLLOCATIONS
S. KATSUMATA

研 究 社
新英和活用大辞典
勝俣銓吉郎 編

KENKYUSHA'S
NEW DICTIONARY
OF
ENGLISH COLLOCATIONS

Edited by
SENKICHIRO KATSUMATA

*AN ENTIRELY
NEW EDITION*

TOKYO

KENKYUSHA

JAPAN

**KENKYUSHA'S
NEW DICTIONARY OF
ENGLISH COLLOCATIONS**

研究社 新英和活用大辞典

1939年 第1版

1958年 第2版

1982年 第26刷



編 者 勝俣銓吉郎

発 行 者 植田 虎雄

発 行 所 株式会社 研究社

〒101 東京都千代田区神田駿河台 2 の 9

電話 編集(03)291-6845

業務(03)291-2301

振替 東京9-32260

本文組版 研究社吉祥寺工場

写真製版 株式会社 近藤写真製版所

本文印刷 三英印刷株式会社

本文用紙 十條製紙株式会社

ク ロ ス 東洋クロス株式会社

製 本 株式会社 松本製本所

製 函 株式会社 加藤製函所

Published by KENKYUSHA LTD.
9, 2-chome, Kanda Surugadai
Chiyoda-ku, Tokyo 101
Japan

内部交流

S61/27 (京) (英・日6-2/163)

英語搭配词典 第2版 T000880

0582-11-034-1861

© 1958, BY KENKYUSHA LIMITED

First edition 1958

All rights reserved

PRINTED IN JAPAN

新版の刊行に際して

辞書は語の意義をあきらかにするのがその本領である。わが国における英語を例にとれば、そのために変則的には和訳・和訳による英和辞書があり、正則的には原訳、すなわち英訳による英英辞書がある。

ところが、わたしの『英和活用大辞典』は、これらの英辞書とその類を異にして、語義を示すのではなく、語が他の語と慣習的に結合して一つの表現単位をなすその姿を広く採集し、これを文法的に排列したもので、その狙いは英語活動態 (English in action) を展示しようとするにある。

こういう観点から編集された辞書は、もちろん、英語にはなく、おそらく他の国語にもないと思う。わたしの辞書が新機軸を出したものであろう。語の意味だけでなく語の結成型を対象にした辞書は、わが国の英語知識が字で生れ、語で立っているだけで、連語 (collocation) によって歩くという域に達していない現状から見て大いに意義ある存在と言えよう。

『英和活用大辞典』は、いまから二十年前 (詳しくは昭和十四年四月) に出版されたもので、その内容はわたしが三十年ばかりの間に集めた十二万のコロケーションを収録したものであるが、今回刊行の『新英和活用大辞典』には、その後に採集した資料を加えてあり、コロケーションの数は二十万に近いものになっているであろう。すなわち、前後半世紀にわたるノートブック・ハビットの結晶で、そのためにわたしの目を通した文献はこれを普通のページに直すと何万ページという龐大なものになるのである。で、その文献は主として、いわゆる popular English に属するものであって、文学に属するというより、むしろジャーナリズムに属するものである。というのは、わたしの目標は美辞麗句を集めるのではなく、また特殊の難句を集めることでもなく、遠意を主とした英文の姿を集成しようという考えであったからである。

初版の序に、私はこの辞書が「作った辞書」でなく「出来た辞書」であるということを書いたのであるが、ここではこの辞書が「引く」だけではなく、「読む」辞書でもあるということ強調したい。この辞書を一日一ページときめて読めば、わたしが五十年かかって何万ページから拾い集めた何十万というコロケーションを四年ばかりで通覧し、English in action の千容万態のレビューができるのである。この実行を切におすすめる。

本辞書に収めたコロケーションは、これを文法的に言って、名詞と動詞が基本になっている。名詞を基語にしたものの内でも「他動詞＋目的語」という型を特に注意して集めてある。これはコロケーションの中心をなすからである。名詞にはそれぞれ適當の形容詞が添えてあり、動詞には常用副詞が附記してあり、また名詞・動詞ともに慣用の前置詞が結びつけてある。‘形

容詞＋名詞’型に属すべき‘名詞＋名詞’型は便宜上別に分類してある。この‘名詞＋名詞’型は初版にはほとんど採録してないのであるが、この新版には相当多数とり入れられてある。これには Q² という見出しがついている。‘動詞＋副詞’型の内、副詞が前置詞ともなるものは idiomatic collocation として広く用いられているので、これを M² として別項に収めることにした。前置詞もそのかかる語の前にくる場合と後にくる場合を区別して、後にくるものは P² として別に分類した。

巻尾の附録は完語、すなわち affix (prefix と suffix) に対し、一語性のある語の compound word の一覧表で、語が他の語とどういふふうに結合して一語を形成するかを示したもので、一語の中のコロケーションとして研究に値いするものである。本辞書の参考として有意義のものであると信ずる。

編集陣について少しく申し上げると、コロケーションは全部わたしが採集した。その取材文献は English-speaking people の書いたものに限定し、漫然記憶などから採ったものを極力避けたからである。材料の分類整理は困難を極めたものであるが、これはわたしと佐藤佐市氏を取り扱った。佐藤氏は原稿を印刷するまでの整理を担当され、またコロケーションの一部の翻訳を引き受けられ、残りの分は内藤三介氏と武者金吉氏が翻訳された。なお佐藤氏のほか、田桐大澄、水野清太郎の両氏は編集並びに校正を最後まで丹念にやって下され、大橋進氏は原稿と校正刷の引合せを担当された。わたしは視力減退のため残念ながら校正に与ることはできなかった。

こうした多能なる協力者を得たので本書もここに晴々しく陽の目を見ることができた。上記の諸君に対し謹んで感謝の意を表する。なお小酒井社長に対して一言謝意を述べる。社長は仕事に熱心な方で、この辞書編成の諸方面にわたって、苦心惨憺たるものがあつた。お蔭でここに完成を見るに至り、その端麗な外観は使用者の机上を飾るに足るものとなつてあらわれたことは、わたしの欣喜に堪えない次第である。

なお、読み難いわたしの手蹟を巧みに捌かれ校正の労を軽減された整版部の方々の労力はわたしが忘れることのできないありがたいサービスであつた。

本辞書に不備の点が多々あることと思うが、これらの点については、ご使用の方方のご示教を切にお願いする次第である。

昭和三十三年九月

編 者

本辞典の使い方

I 本辞典の編集方法について

本辞典は序文で明示された基本方針によって編集されたもので、従来発刊された英和辞典とは全くその型が違っている。すなわち、他の辞典のように、一つの単語を引いて、その意義を知るというやり方ではなく、見出し語を中心にした連語がどう結びつくかを明らかにしている。この点、はじめて本辞典を手にとる方に特にご注意申し上げたい。

なお、本辞典の特色を一言につくせば、「引くだけの辞典ではなく読みこなす辞典」ということになる。単語を引いてその語義を調べる辞典ではなく、見出し語の下に配列された語群を吟味して英語の特性を明らかにする辞書という意味である。

したがって、語群の配列には特別の編集法をとっている。次に例によって具体的に解説してみよう。

A 名詞を中心とした配列

たとえば、いま *fashion* という語を引いてみよう。
fashion, n. 流行、流行物；[集合的に] 上流の人士；様式、やり方、風。

v *create a fashion* 流行を生む。『*follow the fashion* 流行を追う。(以下略)

v² *Fashions change quickly.* 流行はすぐに変る。『*The fashion has come to stay.* その流行は一時的のものでなくなった。

Q *live in a beggarly fashion* こじきのような生活をする。『*She was dressed after the European fashion.* 彼女は洋装していた。(以下略)

Q² *this year's beach fashion* 今年の海水着の新型。『*the fall fashion* 秋の流行。(以下略)

P *after a fashion* とも角も、幾分か、どうにかこうにか。【類】*He can speak and write French —after a fashion.* 『*fall behind the fashion* 流行に後れる。(以下略)

P² *it is the fashion for gentlemen to ...* ...するのは紳士の習いだ。『*be the fashion of the moment.* 現在流行している。(以下略)

O *it used to be the fashion to ...* 以前は...することが流行したものだ。

以上の配列の仕方では、(1) v (Verb 1) は *fashion* という名詞を支配する動詞にはどんなものがあるかを明らかにしたもの。(2) v² (Verb 2) では名詞がどんな述語をとるかを示している。(3) Q (Qualifier 1) では *fashion* にはどんな修飾語(主に形容詞)がつくか、(4) Q² (Qualifier 2) では同様な修飾語(名詞または名詞相当語句)が

つくかを示している。(5) P (Preposition 1) では *fashion* という名詞の前にはどんな前置詞がくるか、(6) P² (Preposition 2) では、*fashion* と次の名詞を結ぶ前置詞にはどんなものがあるかを示している。(7) O (Others) では上記の範囲に属しない形式を集めてある。

B 動詞を中心とした配列

ここでは極めて普通の動詞 *call* を例にとって説明しよう。

call, v. 呼ぶ、招く；称する；求める；訪問する；
【米】電話をかける。

M *I was called away and scarcely knew what to say.* 私は心乱れて何と言っているのか当惑した。『*Call [me] back later.* [電話] 後でまたかけて下さい。』*be called back to life* 生返る。『*call forth all the faculties of the mind* 知恵をしぼる。』*He called me out.* 彼は僕を呼び出した。『*preferably called ...* ...と言った方が正しいのだが。(以下略)

M² *He called me down like anything.* 彼は私をひどくしかった。『*A doctor was called in.* 医者を招(き)んだ。』*call off a dinner (game, meeting)* 晩さん会(など)を中止する。【類】*call off negotiations with* 『*call him up* 彼に電話する。

P *call across a river* 川向こうに声をかける。『*He called after the children who were fleeing.* 彼は逃げて行く子供らを大声で呼んだ。』*We called for beer.* われわれはビールを命じた。【類】*call for a raise (=rise) in pay* (昇給) / *call for medical (=medicinal) aid.* (以下略)
O *I don't call that fair.* それは公平とは言えない。(以下略)

この例では M と M² という欄がある。M は Modifiers (修飾語) の略で、動詞を限定する意である。そして (1) M は純粋な副詞語句で、preferably とか colloquially, correctly, earthly, familiarly, fancifully, popularly, suddenly, well など、また away, back, forth, out などのもっぱら副詞に用いられ普通前置詞にならないものをやはりこのグループに収録した。

(2) M² は副詞・前置詞両様に用いられるものを集めた。すなわち、down, up, in, off, on, along, about, around (round), by 等々である。

C 形容詞を中心とした配列

次に kind と new を例にとってみる。

kind, a. 親切な.

M an *embarrassingly kind* welcome 迷惑するほど丁寧な歓迎. 『He was *kind enough* to take me over the city. 親切にも市内を案内してくれた. 【類】 Be *kind enough* to hold your tongue (だまる).

P It's very *kind of* you. どうもご親切ありがとうございます. 『Be *kind to* old people. 老人には親切にせよ. 『He was *kind and gentle with* his wife and children. 彼は妻子に親切でやさしかった.

new, a. 新しい; 新来の.

M He has something *absolutely new* to say. 彼は全く新しい考えを持っていてそれを言おうとしている. 『The United States is a *comparatively new* country. 米国は比較的新しい国である. 『This work is *quite new* to me. 私はこの仕事は全然不案内だ.

P What's *new* [to us]? 何か変わったことでもあるか. 『a youngster *new at* the game その仕事に不慣れな若者. 『a young man *new from* the country いなかから出たばかりの若者.

以上を読んで見ると、形容詞に副詞のついたものと、前置詞のついたものと二通りあることに気付くであろう。もちろん形容詞は名詞につく場合が圧倒的に多いのであるが、本辞典では名詞修飾の例はすべて名詞の方にまわしてある。たとえば a *kind (old) teacher* is teacher の項に、a *new mode* of living は mode の項にと言った具合である。be 動詞その他の不完全自動詞につく形容詞はすべて動詞の方にまわしてある。

例: look *alarmed (amazed)* びっくりしたらしい (以下略).

その他 look *angry (better, blue, green, nice, sharp)*, etc. 『grow *angry (faint, fat, hot, cold, late, rich, ripe)*, etc.

なお本辞典では特に be の項を新設して 'be + adj.' の例を多数収録してある。

すなわち本辞典で形容詞を引く場合は、(1) どんな修飾語(副詞)がつくか、(2) どんな副詞句(前置詞+名詞の型)が次に続くかを知らうとする場合である。

例: (1) *extremely abundant*; *remarkably fine*; *mighty good*; *highly educated*; *so good*. (2) *high in* price; *high in* office; *angry with* him; *angry at* one's words; *famous for* his learning; *noted for* skill, etc.

(2) の場合も、形容詞は名詞 (price, office, word, learning, etc.) の方に含まれていることが多い。

II 本辞典の活用について

「活用」と銘を打った意味は語と語の結びつき、語群としていかに活動するかを示すことはもちろんであるが、さらにこの辞典を大いに活用して英語の真の姿をつかんでいただきたいという意味も含まれて

いる。そこで本辞典をいかに活用するかにつき、程度によってきまることではあるが、特に次の諸点に留意されたら一層効果的であろう。

A. 名詞+名詞の型

旧版にはなかった本辞典の特色の一つである。この「名詞+名詞」型は英語の一大特色で、他の国語に見られない便利な連語形式である。たとえば「彼は州立カリフォルニア大学の一学生である」という意味の英語は 'He is a State University of California student.' と極めて簡明に表現できる [student の項参照]。同様に a 65-year-old U.N. Secretary-General とか a 5-foot, 97-pound, 24-year-old strawberry blonde といった型は英語独特のものである。

次に、この種の例を示してご参考にご供する【それぞれの項参照】。

1. *leadership ability* 統率力; *language ability* 語学力; *reading (speaking, writing) ability* 読書(など)力. (以下略)
2. the *behind-the-scenes activity* 暗躍; *black market activity* やみ取引; *undergraduates' campus and community activities* 学生の大学内及び学外活動; *espionage activity* スパイ活動. (以下略)
3. the *anti-administration party* 反対党(野党); *arrange a good-bye party* forのため送別会の仕度をする; the *Hitler party* ヒットラー党; a *weekend beach party* 週末海水浴団. (以下略)
4. an *easy payment plan* 分割払い; a *happy-go-lucky plan* 行き当たりばったりの計画; the *pay-as-you-go plan* 「代金はお帰りの際」式のやり方. (以下略)
5. the acute *clothing (housing, food) shortage* ひどい衣料(など)不足; in the face of drastic *labor and material shortages* 労働力及び物資のはなはだしい不足にもかかわらず; *wartime paper shortage* 戦時の紙きん. (以下略)
6. *air-mail service* 航空郵便(制); *Armed Forces Radio Service*=AFRS; *radio (television) [broadcasting] service* 放送事業(など); *water (gas, light) service* 配水(など); *bus (subway, railway) service* バス(など)事業.

B. 動詞+副詞の型

本辞典では特に M, M² という項を設けて「動詞+副詞」の姿をはっきりさせることに努めた。特に up, down, (out は M¹), on, over, forth などきわめて頻用度の高い副詞を M² として多数追加したのは新版の特色の一つである。これらの実例は come, go, put, call ... などの項にある。

若干の例を示すと、go の項に

go, v. ...

M² go *about* with ... / go *along* to ... / go

down to ... / go in for ... / go off / go on
with ... / go over to ... / go under / go up to ...
など二百にものぼる用例が収録されている。さらに、
push や put の項には

push, v. ...
M push apart / push aside / push forward /
push a door open / push out ...

M² push ... along / push ... down / push off /
push on / push ... through / push up ...

put, v. ...

M put apart / put aside / put away / put back /
put ... fast / put forth / put forward / put
out / put through

M² put about / put by / put down / put in /
put off / put on / put up ...

などはそれぞれ多数の用例をあげてその意義の多様性を明らかにしてある。

そこで、これらの例文はそれぞれ他の語または語群と結びついていくつかの異なった意味を含んでいることに気づくであろう。たとえば put down には約三十の用例が載っているが、その意味はいずれも必ずしも同じではない。put down one's pen (ペンをおく) と put me down at ... (...で降してくれ) では違うし、put down a strike (ストを止める) と I put him down at 35 (三十五歳と見当をつけた) ではずいぶん意味が違う。

以上から、この種の項目は語句を拾い読みしないで、ぜひ通読して、その語義の全般的な変化を会得されんことを希望する。一つ一つの用例は異なっているが必ずやそこには一貫した通則があり、その通則をマスターすることが大切だからである。

C 動詞+目的語の型

たとえば heart という名詞が胸に浮んだとする。さてこれにはどんな他動詞がついて collocation を形成するか? この疑問は heart (n.) の項の v 部を見れば解ける。若干の例を示すと

v affect the heart / break one's heart / brighten one's heart / captivate one's heart / cry one's heart out / eat one's heart out / fix one's heart on ... / The good news filled their hearts with joy. / gather heart / fear and anxiety gnawing her heart / keep the heart beating / lose one's heart / move the heart / open one's heart to ... / rend one's heart / soften one's heart / His heart was thrilled with secret pleasure. / touch one's heart ... (以下略)

など多数の例文や類例が出てくる。これによって自分の求める型を自由に選択できる。

更に, pocket (n.) の項を見ると

v cram one's pocket with ... / enrich the pocket / fill one's own pockets ... / lighten one's pocket / pick a [man's] pocket / search one's pocket / suit the pockets of these people (以下略)

などの用例が出ている。

D 主語+述語の型

この型は名詞の v² に収録してある。前記の heart (n.) を見ると

v² My heart aches. / My heart beats high. / My heart bleeds for him. / his heart broke when ... / My heart pounded with expectation. / Our hearts sank low. (以下略)

など名詞 heart の動きが示されている。

なお, hair (n.) を調べてみよう。

v² Her hair is coming off. / Her hair flows in the wind. / Hair falls out (=off). / hair grows on ... (以下略)

なおこの型は Q (形容詞+名詞) の項とも関係があるから、あわせて通読されたい。

E 前置詞を求める型

本辞典が前置詞を見出し語として取り入っていないことは前述の通りである。ではどうして前置詞を求めるかという点、前置詞は元来名詞 (または名詞同等語) の前におかれて動詞とか形容詞と結んだり、または名詞と名詞を結合する役をしたりするものであるから、当然主語あるいは目的語である名詞を求めれば出てくるわけである。

たとえば absence (n.) を引いてみる。

P after a short absence / by its absence / during the absence of ... / in your absence / in the absence of the president, etc.

P² a teacher's absence from classes / absence from school (office) / absence without notice, etc.

また chair (n.) の項には

P He rose from his chair. / sit in a chair / sit back in one's chair / sit up on a chair, etc.

P² a chair for organic chemistry, etc.

次は動詞から前置詞を求める場合をあげてみよう。

agree (v.) を引くとそれには in, on, to, with ... の前置詞がつくことがわかる。

P agree about it / agree as to ... / agree between two persons / agree in chorus / agree in opinion (principle) / agree on some plane of campaign / agree to the terms / agree to one's opinion / I cannot agree with you on that. / agree with one's pocket / This fish does not agree with me. (僕はこの魚を食べるとあたる)。

attend (v.) には at, on, to, with ... などの前置詞がつく。

I attend regularly at church. / attend on the sick (one's sick mother) / attend to one's lesson / be attended with brilliant results ...

belong (v.) と名詞の結合。

P they belong in the same class with ... / This book belongs on that shelf. / They belong to

respectable families. / This belt belongs with that coat. (このバンドはそのコートの附属品だ). (以下略)

また graduate (v.) には from という前置詞を伴うのが通例だが、試みに graduate の項を引いてみよう。

graduate, v. 卒業させる; 学位を授ける, 卒業する (略).

M (中略)

P He graduated as M.D. at Edinburgh in 1807.

【類】 He was graduated at Yale in 1920. / He was graduated from grammar school in 1956. =【英】 He completed his grammar school course in 1956. 【類】 He graduated from Harvard with the degree of M.A. / be graduated from (以下略)

その他 Hellen Keller graduated with honors at Radcliffe College. という例も見える。

以上から graduate at, be graduated at; graduated from, be graduated from の四つの型があることがわかる。一般には be graduated from ... が米語用法で, graduate at (or from) ... が英語用法だといわれているが、必ずしもそうとは言えぬ。なお 137 を見ると, “米国では be graduated from ... は文語体でいく分古い用法。口語では graduate from ... が通例” となっている。

listen (v.) を引くと at, for, to などの前置詞が出てくる。

listen at key-holes / listen for a footstep / listen to a lecture / listen with strained ears

その他 “listen in on the radio (to the music) ラジオ(の音楽)を聴取する” という例もある。

さらに、もっとも頻用度の高い動詞 come, go, set, put, get, call, look などは副詞か前置詞かの助けを借りているような意味を持たせることが多いのだから当然多数の副詞、前置詞(本辞典では M, M², P の見出しで集録されている)がつく。

たとえば come や go は 7 ページにわたり, put も 5 ページに及び、それぞれ七百から千内外の例文をあげてある。次に形容詞から前置詞を求める例を二三示しておく。

たとえば angry (a.) を引くと, about, at, for, with などの前置詞が出てくる。

He was angry about it. / He was angry at the dog (words). / He is angry for (=about) trifles. / I'm angry with you for your conduct.

happy (a.) の項を見ると

He is happy about his promotion. / He is happy among his children. / be happy at the news (at hearing that ...) / I am happy in the consciousness that ... / He is happy over his success. / He is happy with his wife (friends).

の例がある。

keen (a.) には after, about, of, on など。

He is keen after money-making / He is keen

about his game ... / keen of scent (hearing) / He is keen on stamp collecting ...

kind (a.) には of, to, toward, with など。

It's very kind of you. / They are always kind to us. / He was kind and gentle with his wife and children.

popular (a.) には among, for, in, with など。

He is popular among the students. / be popular for his kindness / He is very popular with the ladies.

F 冠詞の問題

名詞を使う場合、冠詞の用法が一番厄介な問題になる。名詞にはいわゆる countable, uncountable とはつきり定められない borderline case がよく出てくる。次に accommodation の項を引いてみる。辞典では「設備・宿泊」の意では主に (しばしば) 複数になることをうたっているが実例ではどうか。

137 A.C.D. には '(chiefly pl.) lodging, or food and lodging' とあり, Webster 大辞典にも 'often in pl.; as, the accommodations (that is, lodgings and food) at a hotel' とある。

accommodation, n. [しばしば pl.] 設備, 宿泊。

v The hotel affords luxurious accommodation for 400 guests. そのホテルは設備が優秀で四百人の客を収容できる。138 engage sleeping accommodation 寝台を予約する。139 There travelers may find accommodation at moderate terms. (かっこうの料金で)。140 get accommodation for the night. 一泊する。141 Hotels there give (=furnish) good accommodations. そのホテルは設備がよい。142 reserve the accommodation in advance 宿泊の予約をする。143 secure accommodation[s] 宿泊する。(以下略)

Q de luxe accommodations [ホテルなど] 特等待遇。144 Rough accommodation can be had at the local inn. 地方の宿屋で(設備は悪いが)どうにかこうにか宿泊ができる。(以下略)

Q² hotel accommodations / excellent hotel accommodations. 145 rooming accommodations (貸部屋) (以下略)

以上を通観して accommodation には pl. が比較的多いが、しかし絶対的でないことが分る。この例は an accommodation という例が皆無であることも注意すべきである。

今一つ communication (n.) を例にとると、これは a communication, communication, communications の三つの形が現われている。a communication は伝言・手紙の意味であり、communication は輸送・通信すること。また communications は通信の制度、(特に軍の)連絡機関、その制度。

137 単数の形は A.C.D. では 'a document or a message ...' Webster では 'a verbal or written message' となっている。複数の形については A.C.D. は 'a. the means of sending military

messages, orders, etc., as by telephone, telegraph, radio, couriers. b. routes and transportation for moving troops and supplies' また, Webster も 'a. A system using signals, couriers, telegraphy, radio ... for communicating information or orders, as in the armed forces. b. A system of routes for moving troops, supplies, etc. ...' となっている。

communication, n. 通信; 交通; 連絡。

v *address all communications to ...* すべての通信を...にあてる。【類】 *All communications should be addressed to the College, E.C. 4.* *await a communication* 書信を待つ。 *The photograph bears a communication.* その写真には通信文が載っている。 *cut off communications with ...* ...との連絡を絶つ。 *establish wireless communication between ...* 間に無線を設置する。(以下略)

Q *a confidential communication* 秘密の情報。
V *There are good communications to the place.* そこへの交通は便利である。(以下略)

Q² *cable communication* 海外通信。 *mass communication* 大衆伝達(マスコミ)。 *phone communications with the outside have been cut off* 外部との電話連絡は絶たれた。(以下略)

以上の諸例から communication の用法をほぼ了解できよう。

air や water にはそれぞれ air, airs, the air; water, waters, the water などの形が出ている。

air (n.) の項を見ると (1) 「空気」「空中」の意味では air と the air がある。すなわち

v *admit air / blow air into a balloon / clear the air / purify the air / sniff the air* (以下略)

v² *The air grows colder as we go up.* (以下略)

Q *The air is breathless. / The air is crisp and cool.* (以下略)

Q² *in the country air / the cool mountain air* (以下略)

p *by air / from the air / in the air / on the air / tread (walk) on air* (うちよう天になる)

(2) 「様子」「態度」の意味では an air; airs とある。

v *assume an air of superiority / carry a king-ly air / put on high airs*

Q *assume a nonchalant air / with a downcast air / with lordly airs ... / with empty airs*

Q² (以下略)

以上から (2) は純然たる Common Noun であることが明らかとなる。

water (n.) の方はいかなる場合も a water という形は出てこない。ただし *under water* は無冠詞だが *in water, in the water; on water, on the water* は二種あり, *through the water* という例は一つある。これから

「海, 川, 湖水など」の意味では waters となる例

はいくつもあるが, water という例はあまりでてこない。これは辞典に (often pl.) Body of water. とするように, 少くとも文語では waters の形が圧倒的に多いことを示している。

history (n.) を例にとってみよう。これも history, a history と二様ある。a ship with a history (歴史のある船) / a woman with a history (数奇な運命をたどった女) などが誌されていて, 不定冠詞のつく例がいくつか示されている。もちろん American history / learn history / History shows that ... などは無冠詞である。

次に industry と business を少しく調べてみよう。まず industry (n.) には「産業」と「勤勉」の意味があることはご承知の通り。「勤勉」の意味では抽象名詞(無冠詞)だが, 「産業」の意味では industry, an industry, industries の例がある。すなわち peace industry, peace industries; war industry, war industries など。expand industry and commerce (無冠詞) と, open up a new industry の例が出ている。すなわち, industry, an industry, industries の三つの形があるわけである。

この意味では business (n.) も同様で, Business is declining (improving) とか do business with ... は無冠詞だが, establish a business of one's own, start (begin) a business では普通名詞になっている。また Q² (n. + n.) の部を見ると, a hit or miss business (一か八かの商売) とか a touch-and-go business (けんのんな仕事) など興味ある句も見える。No business is like show business. (ショーほどすてきな商売はない) なども入っている。

cf. This is an age of recession in all businesses and industries. (今はあらゆる事業産業の景気後退の時代である) — N. Y. Times.

rain (n.) を引いてみよう。「雨」という意味では rain, the rain, a rain, the rains (雨季) の例が出てくる。すなわち

We shall have rain. (雨が降るだろう) / We have the rains in early summer. (初夏が雨季だ) / A soft rain fell like tears. (静かな雨が涙のようにしとしとと降った) / Rain is much needed. (一雨欲しい) / The rain is coming down in sheets. (しのかつ雨だ) 等々。

修飾語の欄 (Q) を見ると大体形容詞がつくと a ... rain or rains となることがわかる。例: a soft rain, a fine rain, heavy rains, a pouring rain, etc. また in the rain という句が多いのは主に口調の関係らしく, in rain という例もある。例: I was caught in [the] rain / in the blinding rain (目もあけられない雨中をついて) / a mountain view in rain (雨中の山景), etc.

では in a ... rain とは言わないかということ, 次の例もある。

In a streaming rain (ざあざあ降る雨の中で)。

cloud (n.) には a cloud, clouds, the clouds の例があり, それぞれ用法が出ている。

color, n. にも color, a color, colors の用例があり, full color (極彩色) / loud color (けばけばしい色) / solid color (無地) / subdued color (淡い色) など興味ある例が出ています。

見出し語についての注意

1 連語の見出しについて

New Year Day (New Year's Day) とか post office などは day, office の項を参照されたい。ただし、この場合のようにほとんど合成語的な語句は、独立させ別に項目を設けたものもある。

例: bank note, bank bill, object lesson, etc.

2 be 動詞の項を新設

be 動詞と形容詞や副詞や前置詞との結びつきを示し、その動きと変化を明らかにした。

例: be badly off / be comfortably off / Where are you off to? / about to be down on him / The hour is up. / That's against the law. / He is at ... again. / The tide is with us. / Here we are!

3 -self の項を新設

これは oneself, itself, myself (yourself, himself, herself, themselves, etc.) を含むいわゆる再帰用法 (Reflexive use) を特に独立させ、その型を示したものの、-self の用法の全貌を知るためには便利であろうと思われる。本辞典では S 部の p. 1139-p. 1157 の 18 ページにわたり約五千の用例を収録してある。

つづりやハイフンについて

本辞典では見出し語は米つづりを主として採用した。本文の例文も可能なかぎり米つづりによっている。ただし、英語特有な表現や、英人 writer から採った例文の中には英語つづりのものも若干含まれている。いずれの場合も、見出し語は colo[u]r; travel[l]er; center, centre; theater, theatre... のように米・英両形を示してある。【】詳細は次ページの「米語つづり一覧表」参照していただきたい。

ハイフン語は必ずしも従来の諸辞典と一致しないものもあるが、これは本辞典の性質上、ぜひもないことである。そのため、特に Compound Words の一覧表を付し、その参照の便に当てる。

注: to-day → today, to-morrow → tomorrow, to-night → tonight, war-time → wartime, pre-war → prewar, post-war → postwar, etc.

付録: A List of Compound Words について

この表は The Compounding and Hyphenation of

English Words—by Alice M. Ball によったものである。なお『大ウエブスター』を参照して、その正確を期した。

この語表の目的は、ハイフン語 (hyphenated words) と、結合語 (solid words) の結合の経過を明らかにすることにある。この表では、接頭語 (prefix) や接尾語 (suffix) は省き、一語として完全な形を成す語と語の結びつきだけを表示した。この表には two-noun form (‘名詞+名詞’型) は含まれていないが、随所に挿入して参考に資してある。

各種記号の解説

1. [] (A) 英語では省略し得る語またはつづりを示す。

annex[e], n. ... appal[l], v. ... colo[u]r, n.

(B) 日本語では訳語の説明及び補足説明を示す。

game, n. [比喩的に] 作戦, ...

habit, n. [婦人用の] 乗馬服。

(C) 用例の中に、

m blast out a stone [雷管などで] 石を吹きとばす。

q² a show boat [演芸用の] ショーボート。

2. () (A) 訳語の同意語を示す。

bench, n. 腰かけ (ベンチ); bloc, n. 團 (ブロック); calendar, n. 暦 (カレンダー)。

(B) 修飾語 ‘noun+noun’ の形で、紙面節約のため異語をはさむ場合。

q front (back) benches [国会の] 大もの(陣笠)席。

q² a short(long)-term bill 短(長)期の手形。

(C) 訳語補足に。

v clear a bill 手形を(交換して)清算する。

q² a paper boat 紙艇 (マニラ紙などで製した狩猟または競争用の)。

3. (A) [] 米・英語 (及び他の外国語)。

[米], [米口], [米俗], [英], [英口] など。

(B) [] 専門語または語の特別用法を示す。主なものは、法・医・理・工・電・商・株式・野球・音楽・映画・劇・服飾・スポーツ・放送(ラジオ)・植物・語・文法など。

4. 【】「参考」の意。たとえば pair (n.) には

【】 a pair of ..., two pair of ... となり、-s をつけない。ただし、商業英語や口語では複数形にして -s をつけることがある。例: How many pairs of socks do you have? / Show me a couple more pairs.

また sure (a.) の項を見ると、

【】 Sure, I am! は Yes の感じだが、否定は Sure, I am not. となって No の感じ。英語用法は Surely である。

road (n.) の米語用法については、次のような説明がしてある。

【】 米語の road (=railroad) は英語の line に当る。米国では鉄道の方が州(公)道より先にできたためという。

本辞典使用の米語つづり一覧表

1. [-l (米)——-ll (英)]

council[l]or, dull[ll]ness, jewel[l]er, travel[l]er, wool[l]en

注: instal[l]ment は、米語用法では -l-, -ll- の両形。英語は -l- だけである。

2. [-or (米)——-our (英)]

colo[u]r, endeavo[u]r, favo[u]r, hono[u]r, labo[u]r, neighbo[u]r, parlo[u]r, vapo[u]r, succo[u]r

3. [-er (米)——-re (英)]

center (=centre), fiber (=fibre), luster (=lustre), maneuver (=manoeuvre), somber (=sombre), theater (=theatre)

注: acre, massacre, mediocre は米・英共通。

4. [-ize (米)——-ise (英)]

analyze (=analyse), paralyze (=paralyse), realize (=realise)

注: advertise は米・英共通で、advertize は米語用法。なお advertisement, advertizement; advertiser, advertizer; advertising, advertizing の関係も同様。ただし、現代英語の用法は動詞の語尾 -ise は -ize の方が多く使われる傾向がある。

5. [-se (米)——-ce (英)]

defense (=defence), license (=licence), offense (=offence), pretense (=pretence)

注: practice の米語用法は *n.*, *v.* で、英語用法は *practice n.*, *practise v.* となっている。但し、*practise (v.)* は米でも使うが、英語には *practice (v.)* という用法はない。

6. [in- (米)——-en- (英)]

inclose (=enclose), indorse (=endorse), infold (=enfold), inquire (=enquire)

注: 現代英語、特に米語では in- と en- は混用している。

7. [-ction (米)——-xion (英)]

connection (=connexion), inflection (=inflexion), reflection (=reflexion)

8. [-i- (米)——-y- (英)]

cider (=cyder), flier (=flyer), siren (=syren), tire (=tyre)

注: 逆に y→i となる場合は gayety (=gaiety), gayly (=gaily), Gypsy (=Gipsy)。米語には dryer, drier の両形がある。英語は drier だけ。

け。

9. [-o- (米)——-ou- (英)]

font (=fount), mold (=mould), moldy (=mouldy), molt (=moult)

10. [-y (米)——-ey (英)]

bogy (=bogey), nosy (=nosey), story (=storey), trolly (=trolley), whisky (=whiskey)

11. [-c, -k, ck (米)——-que (英)]

check (=cheque), checkers (=chequers), man[n]ikin (=mannequin), picket (=piquet), cue (=queue)

注: k が c となる例としては, ankle (=angle), disk (=disc), skeptic (=sceptic)。

12. [-er- (米)——-ar (英)]

brier (=briar), peddler (=pedlar)

13. [-i- (米)——-e- (英)]

benzine (=benzene), dispatch (=despatch), gasoline (=gasolene)

14. [-z (米)——-s (英)]

cozy (=cosy), fuze (=fuse), tzar (=tsar), vizor (=visor)

15. [-ed (米)——-t (英)]

burned (=burnt), dreamed (=dreamt), learned (=learnt), leaped (=leapt), leaned (=leant), smelled (=smelt)

注: burnt (米) は主に形容詞に使う。例: a burnt child (house)。

16. [-e- (米)——-ae- (英)]

medieval (=medaeval), esthetic (=aesthetic), encyclopedia (=encyclopaedia), anemia (=anaemia)

17. [その他] (前が [米] で後が [英])

draft (=draught), vial (=phial), plow (=plough); program[me], gram[me]; educator (=educationist); diplomat (=diplomatist); jail (=gaol); pajamas (=pyjamas); gray (=grey)

注: cigaret[te], omelet[te], catalog[ue], dialog[ue], veranda[h]; lik[e]able, lov[e]able, siz[e]able; good-by[e] は米語では両形とも使っている。

米国版各辞書で bazaar (n.) を引いてみると Also bazar とあり、両形を認めていることが分る。

各種記号一覧表

1. 英 字

<i>a.</i>	= adjective
<i>ad.</i>	= adverb
<i>conj.</i>	= conjunction
<i>F.</i>	= French
<i>interj.</i>	= interjection
<i>M</i>	= modifiers
<i>n.</i>	= noun
<i>O</i>	= others
<i>P</i>	= prepositions
<i>pa.</i>	= participle
<i>pl.</i>	= plural
<i>pron.</i>	= pronoun
<i>Q</i>	= qualifiers
<i>sing.</i>	= singular
<i>v.</i>	= verb
<i>V</i>	= verbs

2. 邦 字

単.....	単 数
複.....	複 数
個.....	個体名詞
団.....	団体名詞
米.....	米語用法
英.....	英語用法
俗.....	俗 語
卑.....	卑 語
古.....	古 語
雅.....	雅 語
海.....	海上語・海軍
空.....	航 空 語
陸.....	陸 軍
法.....	法律用語
商.....	商業用語
株.....	株式用語
理.....	理学(物・化)
工.....	工 学
解.....	解 剖

3. 符 号

=大体同義の句・文
()英・米語用法
【 】専門語・特殊用語
[]解説及び補足
()補足【英字の場合主に意味徹底のため補訳】
『 』用例の小項目
『 』の中に含まれる句・文
【類】類句・文
/類句・文の用例
☞参考・注解
(1) (2)見出し語の区分
→「...の項を見よ」の意

☞ V², M², Q² その他については解説参照。

KENKYUSHA'S NEW DICTIONARY OF ENGLISH COLLOCATIONS

A

abacus, *n.* そろばん.

v. use (=work) an abacus そろばんをはじく.

P beads on an abacus そろばんの玉 *|| reckon on the abacus* そろばんで計算する *|| set figures on the abacus* そろばんに数字を置く.

abast, *adv.* 船尾に.

M The gale was right abast. 真うしろの強風だった.

abandon, *n. F.* 放棄.

Q² The effects of a spirit of wartime abandon have not run their course. 戦時の捨てばちな気分がまだ残っている.

P scream and guffaw with abandon in dancing halls and restaurants ダンスホールや料理店で盛んにわめいたりばか笑いをしたりする.

abandon, *v.* (1) 見捨てる, やめる. 「だろう.

M will most probably be abandoned たいいてい放棄される.

P abandon it as unnecessary それを不必要として捨てる.

|| Abandoned by one deity and helped by another, that is the beauty of it. 捨てての神あれば助ける神がある, よくしたもんだ. *|| The ship was abandoned by the crew.* 水夫は船を見捨てた. *|| He came to London to study law, but abandoned it for art.* 法律研究にロンドンへやって来たが美術の方へ河岸を変えた. *|| He abandoned her for another woman.* 彼はその女から別の女にくらがった.

(2) まかせる, ゆだねる.

P abandon him to his fate 彼を成行にまかせる *|| abandon oneself to the pursuit of a pleasure* 快楽による *|| abandon oneself to drinking* 酒びりになる. *【類】 abandon oneself to intemperance* (不節制) / *abandon oneself to despair* (pleasures) *|| abandon oneself to grief* 悲嘆に沈む *|| He abandoned the city to the conqueror.* その市を征服者のなすがまゝにした.

abandonment, *n.* 放棄; 委付.

Q a complete abandonment of secular duties and cares 全く浮世を捨てること.

P a notice of abandonment 【法】 委付の通告.

P² abandonment of cargo 積荷の委付 *|| abandonment of right* 権利の放棄.

abase, *v.* 低める, へこませる.

P abase oneself before a superior 長上の前にへりくだる.

【類】 abase oneself before God. *|| He was abased by misfortune.* 不幸のためにいじけた.

abash, *v.* 赤面させる, はにかませる. 「しました.

M Your kindness quite abashed me. 御親切には全く恐縮.

P be abashed at a sight 一目見て恥ずかしがる. *|| He is abashed at discovery (=detection).* 露見したのを恥じている.

|| The poor man stood abashed at the display of his wealth. その貧乏人は彼の裕福を見せつけられて恥ずかしい思いをした. *|| He was quite abashed before the king.* 国王の御前で平に恐縮していた. *|| I feel abashed in the presence of superior goodness and wisdom* 優れた善人や知者の前に出るとおもはやく感じる.

abate, *v.* 減じる; 値引する.

M Demand has considerably abated. 需要が著しく減った.

|| The weather sufficiently abated to permit landing from the vessel. 天候がすっかり静まったので上陸することが出来た.

P abate by law 法律で禁止する. *|| abate 5 cents from (=out of) the price* その値段から五セント引く. *|| abate ... of* は古体. *|| abate in fury* (violence) 激怒(など)が鎮まる. *|| abate of the fever* 熱が下がる.

abatement, *n.* 値引, 減価; 減少, 減退.

v. These prices admit no abatement. 値引は少しもできない.

|| make (=effect) an abatement 値引する *|| Our rule is to make no abatement.* 私共では値引をしないことになっています. *【類】 We are obliged to make these abate-*

Q² noise abatement 騒音防止. *【ments.*

P² abatement from the price asked 呼び値より負けること. *|| There is no abatement in his temperature.* 彼の体温は一向下がらない. *|| abatement of the fever* 熱が下がること *|| abatement of penalty* 減刑.

abbot, *n.* 僧正.

Q² a great Buddhist abbot 大師.

abbreviate, *v.* 略する.

P "Sweets" is abbreviated from "sweetmeats." sweets は sweetmeats の略語だ. *【類】 Mathematics is sometimes abbreviated to math.* / Young Men's Christian Association is commonly abbreviated to Y.M.C.A.

abbreviation, *n.* 略語.

Q an inelegant abbreviation 俗な省略 (laboratory を lab と略すような). *|| a colloquial abbreviation* 俗語体の略し方 (Japanese を Jap と略すような). *|| Col. is a familiar abbreviation of Colonel.* Col. は Colonel の普通の略し方だ.

P Can't is an abbreviation for cannot. can't は can not *A B C (=a b c), n.* 初歩. *【】に対する略語.*

P They are only at the A B C of their studies. 彼らは学業のほんの初歩にある. *|| begin with the a b c of a subject* 学科の初歩から始める.

P² He does not know even the A B C of philosophy. 彼は哲学の初歩も知らない. *|| a b c to speculation in stock exchange* 相場の手ほどき.

abdicate, *v.* 退位する.

P abdicate from the throne 王位を譲る.

abdomen, *n.* 腹, 腹部.

v slash the abdomen horizontally 腹を切る. *|| slim the abdomen* 腹をほっそりさせる.

Q a heavy, pendulous abdomen during later weeks of pregnancy 産月の暮れこちそうなおなか.

P sleep upon the abdomen 腹はいた寝る.

abduct, *v.* 誘拐(の)する.

P abduct a person from his home 人を誘拐する.

abeam, *adv.* 真横に.

M right abeam 真横に.

P abeam ofと並んで.

aberration, n. 錯乱.

Q suffer from mental aberration 精神が錯乱している.

abet, v. 教唆する.

P abet a man against his master 人をおだててその主人に反抗させる. **abet a man in a crime** 人を教唆して罪を犯させる. 【類】 **abet a man in his folly** (愚行).

abeyance, n. 中絶, 中止.

P It is in abeyance. それは中止している. **The matter is kept in abeyance.** あの件は中止になっている. **The right of property cannot be in abeyance.** 財産権は無主たることを得ない. **keep in abeyance** 中止して置く. **fall into abeyance** 中止になる. **It is in a state of abeyance.** それは中止の状態にある.

abhorrence, n. 大きらい, 憎悪.

V He has an abhorrence of sin. 彼は罪惡をいみきらう. **show abhorrence of snakes** 蛇をきらう. 「らいた.

Q He has a great abhorrence of medicine. 彼は薬が大き

P held a person in abhorrence 某を忌みきらう. **be struck with abhorrence** ぎょっとする.

P² abhorrence of ingratitude (gambling) 忘恩(など)をきらうこと. **It is an abhorrence to his feeling.** 彼はそれを

abhorrent, a. いとわしい; 相容れない. 【忌みきらう.

P abhorrent from ... [=] [古] abhorrent to or of. **He is abhorrent of excess.** 彼は度を過ぎ事がきらいだ. **Such an act is abhorrent to my sense of right (my feelings).**

こうした行為はどうしても僕の道徳観念(など)と相容れない.

abide, v. 住む; 服従する; 固守する.

M He abode (=abided) faithfully. 彼は依然忠実であった. **abide faithfully by one's promise** 約束を忠実に守る.

She abode virgin. 彼女は処女で通した.

P abide at a place (house) 某所(など)に宿る. **abide by one's first love** 初恋を守り通す **abide by one's resolution** 決意を翻さない. 【類】 **abide by a promise** (an agreement) **abide by a judgment** 判決に服する **abide by the decision of the majority** 多数決に従う. 【類】 **take their disputes before it and abide by its decisions / abide by the law / abide by the conditions of ...** **abide by the consequence** 結果に甘んじる. 【類】 **abide by the event (inevitable)** **abide by a friend** 友を助ける. **abide for a time** しばらく住む. **abide in a place (house)** 某所(など)に住む. 【類】 **abide in the wooded hills.** **abide with ...** ...と同居する.

ability, n. 技術, 手腕, 才能.

V appreciate one's ability 腕を買う. **His condition baffles the diagnostic abilities of medical men.** 彼の容態には医師も診断をしかねている. **conceal one's ability** 自分の力量を隠す. **cultivate one's natural ability** 天賦の才能をみがく. **depreciate one's abilities** 人の腕前をけなす. **develop special ability in ...** ...における特殊技術を発達させる. **display one's own ability** 自分の腕前を発揮する. **doubt his ability to translate** 彼の翻訳に対する能力を疑う. **exhibit considerable ability** 大いに腕前を発揮する. **have the ability to make a big plan** 大計画を立てる能力がある. **improve one's conversational abilities** もっと会話の力をつける. **measure one's ability** その技術を図る. **overlap his ability** 彼以上の力量を示す. **prostitute one's ability** 自己の能力を濫用する. **show ability in the dispatch of business** 仕事が早いという長所を示す.

Q administrative ability 経営の才. **all-round ability** 円満の才. **He shows more than average ability in this direction.** 彼のこの方面の手腕は人並以上だ. **diplomatic ability** 外交的腕前. **distinct literary ability** きわ立った文才. **a woman of distinguished intellectual ability** 抜群の知力を備えた婦人. **a man of exceptional ability** 異数の手腕家. **executive ability** 経営の才. **financial (=pecuniary) ability** 財力. **good conversational ability** 談話の才. **show great ability** 大腕前を見せる. **an innate ability** 天賦の才能. **The Americans are celebrated for their inventive ability.** 米国人はその発明の才で名高い. **linguistic ability** 語学の才. **a lady of marked literary ability** 際立つて文才のある婦人. **a man of all-round mediocre ability** 何でも人並にできる人. **a man of no ability** 無能の人. **oratorical ability** 弁舌の才. **practical ability** 応用の才. **It was achieved with praiseworthy ability.** それはあっぱれなできばえだった.

He shows rare ability in this direction. 彼はこの方面にはすばらしい技術がある. **a scholar of recognized ability** 定評ある学者. **remarkable ability** 非凡の手腕. **By sheer ability and force of character, he has acquired the present position.** 全く技術と人格の力で今日の地位を得た. **He speaks English with some ability.** 彼はいくらか英語が話せる. **He excelled me in strategic ability.** 私以上の戦術家であった. **striking abilities in diplomacy** すばらしい外交手腕. **men of substantial ability** 実力のある人. **a scholar of undoubted ability** 確かに実力のある学者. **His ability is unquestionable.** 彼の手腕は疑う余地がない. **He won his way to an earldom by his warlike ability.** 軍人としての手腕によって伯爵の位をかち得た.

Q² He has the artist ability to endow the people of whom he writes with flesh and blood. 作中の人物を生き生き描き出す芸術的才能に恵まれている. **show great business ability** 偉大な商才を示す. **defects in language ability** 語学上の欠陥. **has leadership ability** 統率力がある. **organizing ability** 組織力. **pupil ability** 生徒の学力. **reading ability in English** 英語の読解力. **his good reasoning ability** 彼のりばな推理力. **develop one's speaking ability** 弁舌の才をのばす. **teaching ability** 教授力. **end Germany's war-making ability** ドイツの戦争能力を封じる. **restore working ability** 労働力を回復する. **One's writing ability grows by practice.** 文章は練習次第でうまくなる.

P according to their ability 彼らの力量に応じて. **His appointment is from sheer ability.** 彼の任命は全くその腕前が然らしめたのだ. **He is wanting in ability.** 彼は腕がない. 【類】 **He is not behind the other students in ability.** **I will do it to the best of my ability.** できるだけよくやります. **a man of ability** 藝術家. **Thanks to his ability, he has obtained great success.** 力量があったために大成功をした. **rise through ability** 実力で昇進する. **do to one's best ability** 全力を尽してやる.

P² ability for (=in) some work ある仕事にかけたの技術.

O the ability to construe Browning ブラウニングを解釈する力. 【類】 the ability to express oneself on paper (作文) / the ability to write a foreign language.

ablaze, a., ad. きらきらして.

P a monster emporium ablaze with light 電灯できらきらしている大商店. 【類】 **The sky is ablaze with flame.** / **The streets are ablaze with decorations.** / **The mountain-sides are ablaze with azaleas, wisteria, and many other beautiful flowers.**

able, a. 力ある, ...することのできる.

M He is financially able to establish a home. 家庭を持つだけの余裕がある. **be but poorly able to ...** どうかこうかに...をすることが出来る. **He is quite able to teach.** 彼は十分教えられる. **be not so able in ... as expected ...** では期待されるほど有能でない.

O I may not be able to get back before tomorrow. あすまでは帰れない. 【類】 **He will probably be able to see you this evening.**

ablution, n. 沐浴(じ).

V do (=perform) the ablution on the hands and the feet

Q personal ablution 沐浴. 【手足を洗う.

Q² the morning ablution and toilet 朝の沐浴と化粧.

abnormality, n. 変則, 変態.

V She has shown no abnormality in intelligence or in disposition. 彼女は知能または気質に何ら常人と違った所が

aboard, ad. 船へ, 船内に. 【見えな.

M All aboard! 皆さんお乗り下さい. **close (=hard) aboard** 舷側に並して.

P He came aboard of my ship. 彼は私の船に乗り込んで来た. **I fell aboard of him.** 彼と(感情が)衝突した.

abode, n. 住所, 居住.

V They established their permanent abode here. 彼らはここに永住の居宅を構えた. **form a fit abode for ...** ...の住所に適している. **He has no fixed (=certain) abode.** 住所不定だ. **make one's abode=** dwell 居住する. **He took his abode in the ruined castle.** その荒れはてた城に居を占めた. 【類】 **He took up his abode in a cave.** **She believed that the souls of her dead relations have taken up their abode in those parrots.** 彼女は死んだ親戚

の靈魂があのおうむに乗り移っていたと信じた。

Q a man of no fixed abode 住所不定の人。

P¹ his abode at the monastery 彼の僧院の住い。【one's abode in the suburbs 郊外の住宅。

abolition, n. 廃止。

Q total abolition 全廃。

P on the abolition of the feudal system 封建制度が廃止

P² abolition of the privilege enjoyed by ... が享有して

A-bomb, n. 原爆。

v explode an A-bomb by way of experiment 原爆実験の

abominable, a. いやな。

P Any food that savors of onions is abominable to him.

ねぎ臭いものは何でもきらいだ。

abomination, n. ... くらいい。憎悪。

v They have an abomination for heretics. 彼らは異端者

p regard smoking with abomination 喫煙をきらう。

P² Lying lips are abominations to the Lord.—Bible. いつ

わりのくちびるはエホバに憎まる。【類】Sentiment (感傷)

is an abomination to the Japanese people.

abortion, n. 堕胎。

v bring on an abortion 流産をもたらす。【cause abortion

堕胎させる。【have an abortion 堕胎する。【artificially

induce abortion 人工的に流産させる。【perform (=pract-

ice) abortion on eugenic grounds 優生学上の理由で流産

させる。【It will produce (=procure) abortion. そうする

と流産する。【産。

Q criminal abortion 堕胎罪。【induced abortion 人工流

産 abortion, v. 富む、充滿する。

P This garden abounds in flowers. この庭園には花が多い。

|| The place abounds in legendary lore. その土地は伝説

に富んでいる。【類】The district abounds in scenic and

natural wonders. / This forest abounds in game (猟

鳥). / This country abounds in products. / His poems

abound in passages of great beauty. / He abounds in

wealth. / abound in natural resources / Such cases

abound in military history (戦史). / Game (動物) abounds

in the fields. / The pheasant (き) abounds in Japan. /

a lecture abounding in wise counsel (教訓). 【feed the

swans that abound on the rivers 川にたくさんいる白鳥に

食物をやる。【Streams abound with fish. 川には魚がう

ちよういる。【類】This country abounds with fruit (fine

scenery). / This river abounds with trout. / The ship

abounds with rats. / Japan abounds with rain. / Italian

literature abounds with good stories. / The Italian

tongue abounds with smooth and liquid sounds.

about-face, n. 【回れ右から】完全な転換。

P² an about-face of his stand 彼の立場の百八十度の転換。

abrasion, n. 皮膚のすりわけ。

P² an abrasion of the skin 擦過傷。

abreast, ad. 並んで。

M They walked two or three abreast. 彼らは三人並ん

P keep abreast of progress in science 科学の進歩におく

れない。【類】keep abreast of the thought of the age.

【keep abreast with (=of) the times 時代後れにならない

abridge, v. 省略する；奪う。【ようにする。

P It was abridged from the original work. それは原本の

省略だ。【abridge him of his rights 彼の権利を奪う。

abroad, n. 海外。

P letters for abroad 外国行の手紙。【letters from abroad

外国からの手紙】a watch brought from abroad 舶来の懐

中時計。【類】a teacher engaged from abroad / after his

return from abroad.

abroad, ad. 戸外に；方々に。

M You are all abroad. 君はまるで見当違いだ。

P The storm was abroad with all its thunders. 雷雨が激

abrogation, n. 【法】失効。【しかった

P² the abrogation of the leases 借地権の失効。

abscond, v. 逃亡する。

P abscond from a place ある場所を逐電する。【類】abs-

cond from his jail / abscond from his creditors. 【abs-

cond with valuables 貴重品を持逃げする。

absence, n. 不在、欠席；皆無。

v mark the absence of students 学生の欠席の印(し)をつ

ける。【miss the absence of ... がいないのに気がつく。

【Its absence will never be noticed. それがないことには決

して気がつかないだろう。

Q There was a complete absence of information as to how the little fellow met his death. その子がどうして死んだのか一向様子が分らなかった。【He presided in the enforced absence of the president. 会長が止むなく欠席したので彼が議長席についた。【the entire absence of reason 全然理性の欠けていること。【short meetings between long absences 永く間を置いてはちよと会うこと。【類】After a long absence her son was coming home. 【during his temporary absence from Japan 一時日本を留守にしていた(いる)間。【revisit Paris after ten years' absence 十年振りでパリを再訪する。【in the unavoidable absence, owing to illness of ... が病氣のため止むを得ず欠席したので。【an unexcused absence in a class 授業時間無断欠席。【There was an utter absence of a fixed honest intention. 一貫したまじめな意図が全然欠けていた。

Q² business absences 用事による不在。【return to one's birthplace after a seven-year absence 七年間留守にした後郷里へ帰る。【come home after war absence 応召不在の後帰宅する。

P return to one's seat after a short absence 一時席を離れてまた戻る。【類】after an absence of several months in America / After an absence of twenty minutes, he returned. 【It is conspicuous by its absence. 【あるべきものがないのでかえて目立つ。【during the absence of ... の不在中。【類】Please take care of my house during my absence in the country. 【A good many of the degrees were conferred in absence. 学位の授与式に多数の受領者が欠席した。【He called in your absence. 君の留守に訪ねて来た。【In the absence of the president, vicepresident occupied the chair. 議長不在中副議長が代理を勤めた。【Speak no ill of one in one's absence. 人のかげ口をきくな。【be presumed, in the absence of proof to the contrary 反対の証拠がないので推定する。【類】I was obliged to accept it as true in the absence of other evidence. / in the absence of such notification (通告) / in the absence of the right article (適当な品) / In the absence of exact data (資料), these discussions are bootless (徒勞). 【in the absence of a special contract 特に契約がある場合の外。【a report of absence 欠席届。【owing to his absence from school (work, a meeting) 学校(など)を休んでいるので。

P² a teacher's absence from classes 休講。【類】your absence from lectures / absence from school 〓 Business made my absence necessary from home. 用事であるすにしなければならなかった。【absence of order 無秩序。【His absence of mind is proverbial. あの男のぼんやりはだれ知らぬものはない。【The absence of advertisement there is very soothing. そこには広告が見えないので非常に気持ちよい。【absence of vulgarity 脱俗。【absence without notice (=due notification) 無断欠席。

absent, n. 不在者。

v criticize the absent かげ口をきく。

absent, a. 不在の、欠席している。

M be unavoidably absent 止むを得ぬ事情のため欠席(勤)

P He is absent at Nagoya. 名古屋に行っている。【At times

he would be absent for a couple of days. 彼は時々二三日の欠席(勤)をした。【He was absent from church. 教会

に出なかった。【類】be absent from school (a meeting)

without due notice / He was absent from home yes-

terday. / be absent from Tokyo / I am to be absent from

England till June. / He was absent from his wife for

some years. / be absent from roll-call (点呼) / He was

absent from his work without leave (無断で). / be absent

from duty 〓 be entirely absent from one's mind 全く念

頭でない。【He is absent in Nikko (Europe, China). 日光

(など)に行ってるすだ。【be absent on a tour 旅行中で不在

だ。【absent with (without) leave 休暇中(無断欠勤中)の

(軍人など)。

absent, v. 欠席する、ろすにする。

P He absented himself from school (work) yesterday.

きのう学校(など)を休んだ。【類】He absented himself

from the meeting (lectures). / He frequently absents

himself from home. / absent oneself from the city.

absentee, n. 欠席者。

Q² a long-term absentee 長期欠勤者。

P absentees from class 学校の欠席者。【an absentee